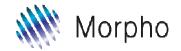


2016年10月期通期 決算説明会資料

2016年12月9日 株式会社モルフォ

(東証マザーズ: 3653)



本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものであります。

当該仮説や判断に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等の様々な要因により、実際の業績等は本資料記載の業績予想とは異なる場合があることをご承知おきください。

目次

1 2016年10月期 決算概要

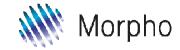
3

2 2017年10月期 業績の見通しおよび戦略

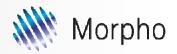
2016年10月期 新製品のご紹介



2016年10月期 決算概要



連結損益計算書/貸借対照表



単位:百万円

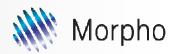
連結損益計算書

科目	2015年10月期	2016年10月期	増減額増減率
売上高	2,037	2,143	+105 (+5%)
営業利益	742	824	+82 (+11%)
経常利益	785	753	▲32 (▲4%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	604	507	▲96 (▲16%)

連結貸借対照表

科		2015年10日期	2016年10月期			前期未対比
什	H	2015年10月期	2010年10月期	増減額	増減率 %	主な要因
	流動資産	2,654	3,724	+1,070	+40%	【流動資産】 現預金+1,063百万円、売掛金+22百万円
	固定資産	288	338	+50	+17%	供」
資産合計		2,942	4,063	+1,120	+38%	有形固定資産 +37百万円
	流動負債	546	253	▲292	▲ 54%	【流動負債】 未払法人税▲155百万円
	固定負債	70	53	▲17	▲25%	未払金▲59百万円
	負債合計	616	306	▲310	▲ 50%	【固定負債】 長期借入金▲24百万円
	株主資本	2,297	3,740	+1,443	+63%	【株主資本】 資本金/資本剰余金+625百万円
	純資産合計	2,325	3,756	+1,430	+62%	利益剰余金+507百万円 自己株式▲315百万円
負債·純資産	合計	2,942	4,063	+1,120	+38%	

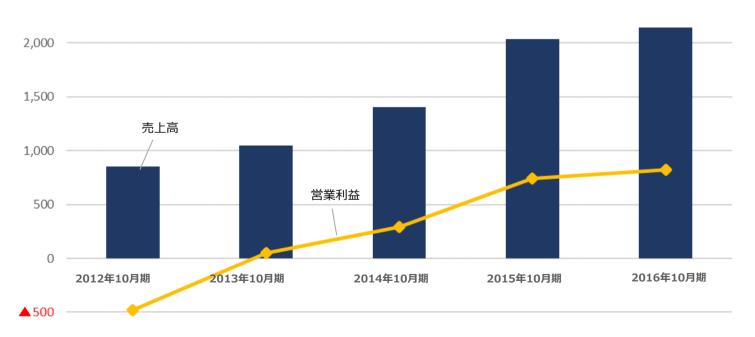
百万円以下切捨



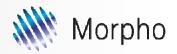
単位:百万円

科目	2012年10月期	2013年10月期	2014年10月期	2015年10月期	2016年10月期
売上高	855	1,049	1,405	2,037	2,143
営業利益	▲479	52	295	742	824
営業利益率	▲ 56%	5%	21%	36%	38%
経常利益	▲472	73	329	785	753
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 557	30	309	604	507



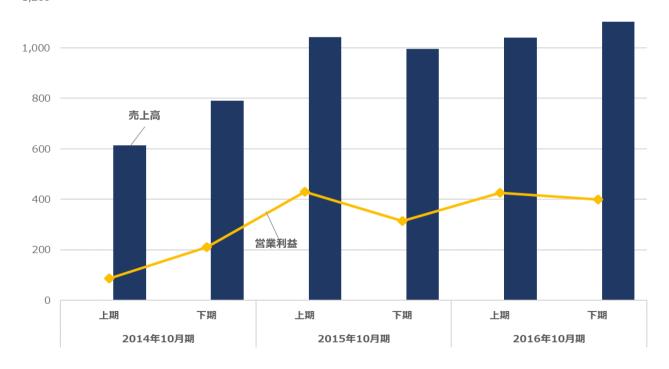


半期業績の推移

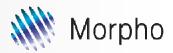


単位:百万円

科目	2014年10月期		2014年10月期 2015年10月期		2016年10月期	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上高	614	791	1,042	995	1,040	1,102
営業利益	85	209	428	313	426	398
営業利益率	14%	26%	41%	32%	41%	36%
経常利益	93	235	477	307	364	388
親会社株主に帰属する 当期純利益	60	248	349	253	258	249



セグメント別業績の推移一【カメラデバイス事業】

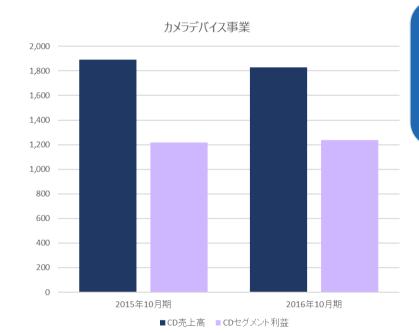


単位:百万円

カメラデバイス事業

科目	2015年10月期	2016年10月期		
	通期	通期	増減 (対前年同期比)	
売上高	1,890	1,827	▲ 62	
セグメント利益	1,219	1,237	+17	
セグメント利益率	65%	68%	+3ポイント	

百万円以下切捨

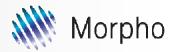


・「カメラデバイス事業」は、中国顧客向けロイヤリティ収入や 車載向け開発収入が大幅に増加した一方、他地域顧客向け ロイヤリティ収入の減少により、売上は前年同期比▲3.3%減 セグメント利益は、協力企業等に対する支払手数料等費用が 減少したため前年同期比+1.5%増



当社グループは事業セグメントを区分開示する重要性が乏しかったため、セグメント情報の記載を省略しておりましたが、2016年10月期第一四半期より、量的な重要性が増加したことに伴い、「カメラデバイス事業」「ネットワークサービス事業」の2つを報告セグメントとさせていただきます。前年同期比較については、前年同期の数値を当該報告セグメント区分に基づき作成した数値で比較しております。

セグメント別業績の推移一【ネットワークサービス事業】



単位:百万円

ネットワークサービス事業

科目	2015年10月期	2016年10月期		
	通期	通期	増減 (対前年同期比)	
売上高	147	315	+168	
セグメント利益	▲90	130	+221	
セグメント利益率	▲61%	41%	_	

百万円以下切捨



「ネットワークサービス事業」は、ロイヤリティ収入に結実した案件が増加したこと、および建設・FA(ファクトリーオートメーション)・放送等の新規事業領域において試作案件を獲得したことにより売上は前年同期比114%増セグメント利益は売上高増加により黒字に



当社グループは事業セグメントを区分開示する重要性が乏しかったため、セグメント情報の記載を省略しておりましたが、2016年10月期第一四半期より、量的な重要性が増加したことに伴い、「カメラデバイス事業」「ネットワークサービス事業」の2つを報告セグメントとさせていただきます。前年同期比較については、前年同期の数値を当該報告セグメント区分に基づき作成した数値で比較しております。

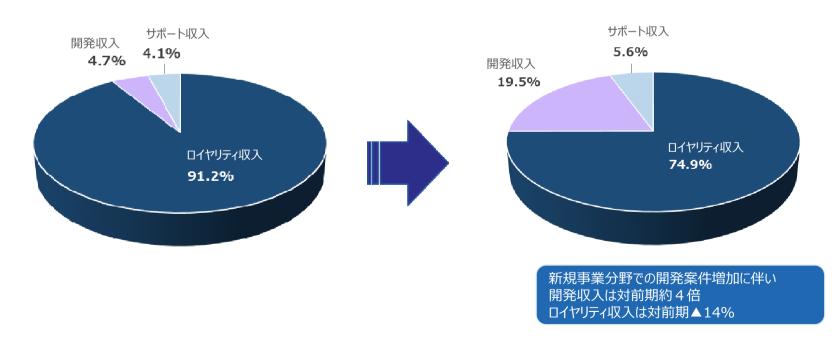
売上高構成-前年比較



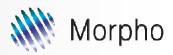
単位:百万円

収益区分	2015年	10月期	2016年	10月期
拟血区刀	金額	割合 %	金額	割合 %
ロイヤリティ収入	1,858	91.2%	1,606	74.9%
開発収入	96	4.7%	417	19.5%
サポート収入	82	4.1%	119	5.6%
合計	2,037	100.0%	2,143	100.0%

百万円以下切捨



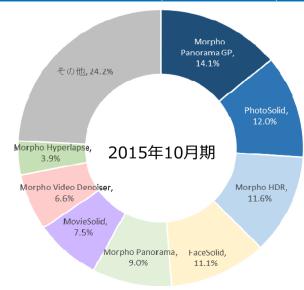
ソフトウェア製品別の売上高構成



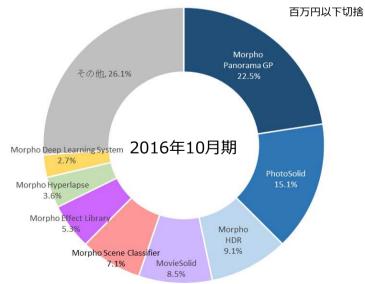
単位:百万円

製品名	2015年10月期			
4X111.11	金額	割合 %		
Morpho Panorama GP	286	14.1%		
PhotoSolid	244	12.0%		
Morpho HDR	237	11.6%		
FaceSolid	225	11.1%		
Morpho Panorama	183	9.0%		
MovieSolid	152	7.5%		
Morpho Video Denoiser	134	6.6%		
Morpho Hyperlapse	79	3.9%		
その他	492	24.2%		
合計	2,037	100.0%		

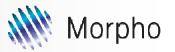
製品名	2016年10月期		
281111	金額	割合 %	
Morpho Panorama GP	482	22.5%	
PhotoSolid	324	15.1%	
Morpho HDR	194	9.1%	
MovieSolid	181	8.5%	
Morpho Scene classifier	152	7.1%	
Morpho Effect Library	114	5.3%	
Morpho Hyperlapse	77	3.6%	
Morpho Deep Learning System	56	2.7%	
その他	558	26.1%	
合計	2,143	100.0%	





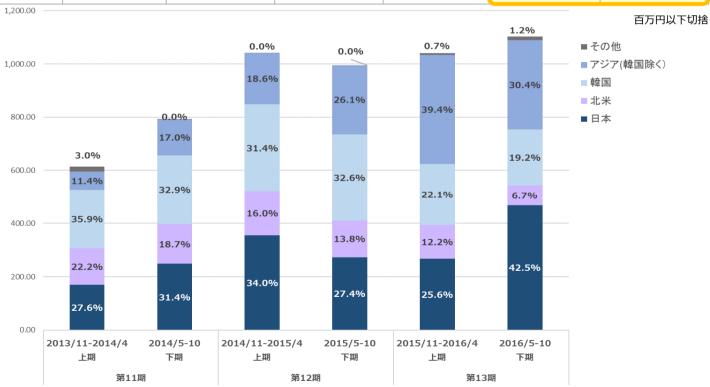


地域別売上高推移

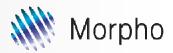


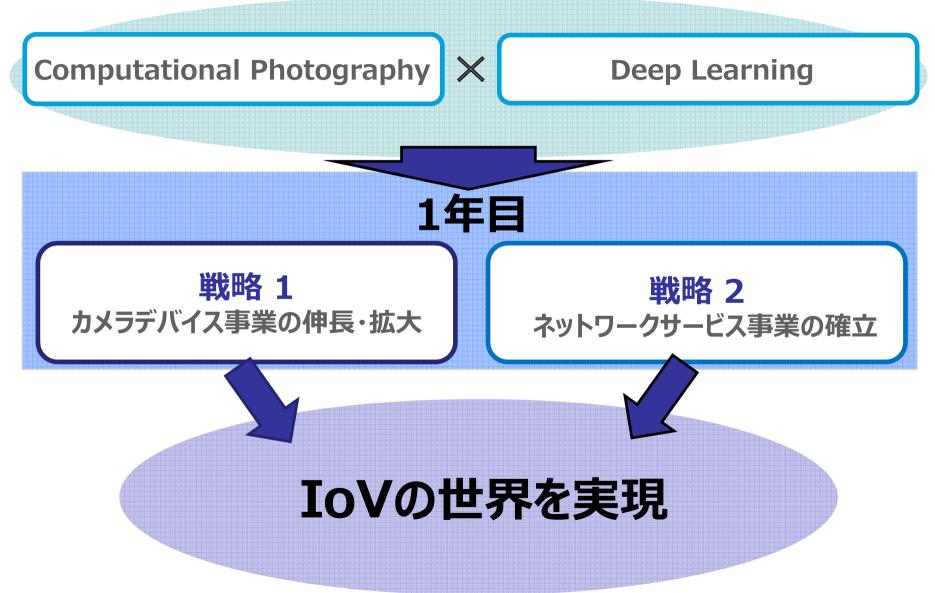
単位:百万円

地域	2014年10月期 上期	2014年10月期 下期	2015年10月期 上期	2015年10月期 下期	2016年10月期 上期	2016年10月期 下期
日本	169	248	354	273	266	468
北米	136	148	166	137	126	74
韓国	220	260	327	324	230	211
アジア(韓国除く)	69	134	194	259	409	334
その他	18	0	0	0	7	12
合計	614	791	1,042	995	1,040	1,102

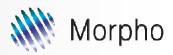


中期事業戦略 2016年10月期~2018年10月期





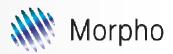
中期事業戦略1年目の状況・進捗①



戦略1. カメラデバイス事業の伸長・拡大

- ■既存技術の強化・進化
 - ・累計15億ライセンス超を達成、スマートフォンのデファクトスタンダードに 近づいたが、スマホ市場の成長鈍化によりロイヤリティー収入が減少
- ■中国企業へのアプローチ強化
 - ・Thundersoft社との協業により中国企業開拓が進展
- ■新規カメラデバイス事業立ち上げ等
 - ・自動車関連にて株式会社デンソーと共同開発を開始
 - ・AR(拡張現実感)をコア技術に有する株式会社コンセプトと新たな製品、 ソリューションおよびサービスの提供に向けた共同開発を開始

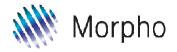
中期事業戦略1年目の状況・進捗②



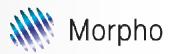
戦略2. ネットワークサービス事業の確立

- ■ディープラーニング関連
 - ・画像認識ソフトウェア開発に特化したディープラーニング製品「Morpho Deep Learning System」を発表
 - ・各種事業者にて学習エンジンおよび認識エンジンが採用
- ■放送局関連
 - ・フレーム補間エンジン「Morpho Frame Interpolater」を発表、 国内放送局に採用
 - ・NABSHOW 2016およびIBC2016 に初出展 放送・映像業界に特化した4K 対応の映像技術を紹介

2017年10月期 業績の見通しおよび戦略



中期ビジョン - 中期的に目指す姿



『全ての「カメラ」に知能を持たせる』

画像処理と画像認識技術を融合する事で IoV (Internet of Vision) の世界を実現する



Computational Photography



Deep Learning

2年目

戦略 1

カメラデバイス事業の伸長・拡大

スマホ市場シェアNo.1 新規カメラデバイス事業確立

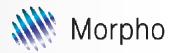
戦略2

ネットワークサービス事業の確立

強みを生かしたビジネスモデル 動画ソリューションの充実と拡大



IoVの世界を実現



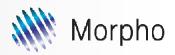
Deep Learning

多層構造の最先端ニューラルネットワーク技術による機械学習

画像処理と画像認識技術を融合する事で IoV(Internet of Vision)の世界を実現

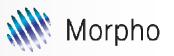
Computational Photography

カメラの物理的・光学的な限界から生じる課題を 軽減・解決することを目的とした技術



戦略1.カメラデバイス事業の伸長・拡大

- ■スマホ市場シェアNo.1
- >>競合製品やメーカー各社による内製を打破し、 スマホ市場シェアNo.1を目指す
 - 新規カメラデバイス事業確立
- >>ポストスマホ事業の開拓推進 車載カメラ事業の確立
- ■中国市場での更なる拡大
- >>パートナーシップを強化し深耕拡大・新規開拓



◆次世代画像認識システム向けDNNのアルゴリズムを共同開発

DENSO 自動車部品業界の リーディングカンパニー



Morpho 画像処理技術 Deep Learning

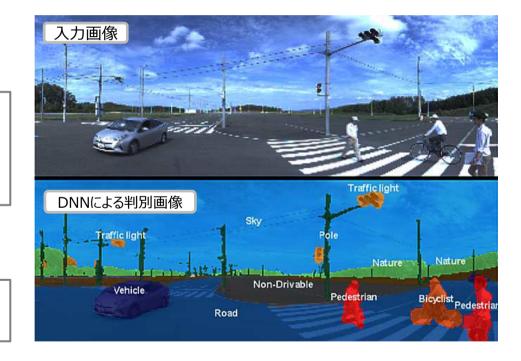


Deep Neural Network(DNN)による 画像認識技術のアルゴリズムが、高度運転 支援および自動運転技術の実現に向けた 次世代の画像認識システムへ応用

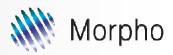


DNNを用いた画像認識で、自ら対象物の特徴を抽出し学習が可能に





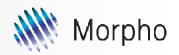
▶多様な対象物の認識および検知精度の飛躍的な向上を実現



戦略2.ネットワークサービス事業の確立

- ■ディープラーニング関連
- >>「Deep Learning System」の商用ライセンス化 収益と売上のバランスの取れた成長を目指す
- ■放送局関連
- >>映像処理のクラウド型サービスの提供開始 海外顧客の取り込み

戦略2に関するアクション



1.ディープラーニング関連

アイテック阪急阪神 × Morpho

『アイテック阪急阪神株式会社との業務提携』

▶ ディープラーニング技術分野で業務提携 西日本地域を中心に、これまで提供してきた市場(Webサービス、建設、製造等)に加えて、今後は交通関連やビル関連の市場の開拓を推進する予定

2.放送局関連

FUJISOFT

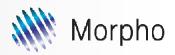
×

Morpho

『クラウドビデオプロセシングサービス(仮称)』

- ▶ モルフォの映像処理技術を富士ソフト株式会社構築のクラウドサービス上で提供する新しいサービス。放送局、放送機器メーカー、コンテンツプロバイダ、ポストプロダクション、広告、監視カメラ等あらゆるデジタル映像コンテンツを取扱う市場が対象。 2017年春サービス開始の予定
- ▶肥大化する制作工数の大幅削減のため、高精細かつ高画質な映像処理をシンプルなインターフェースと高性能な映像処理を併せ持ったクラウド型サービスを低コストで提供

2017年10月期 業績予想



単位:百万円

連結損益計算書

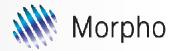
科目	2016年10月期	2017年10月期 業績予想			
14 C	(通期実績)	(通期)	増減額		
売上高	2,143	2,500	+357		
営業利益	824	950	+126		
経常利益	753	950	+197		
親会社株主に帰属する当期純利益	507	650	+143		
1株当たり 当期純利益	98.33	123.31	+24.98		
円 銭					

※当社は、平成27年5月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。

百万円以下切捨

新製品のご紹介





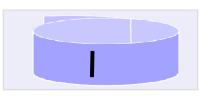
高解像度画像で360度パノラマを高速合成

~臨場感あふれるパノラマ写真をスマートフォンで簡単に~

4K等高解像度の入力画像をリアルタイムに合成 360度ぐるつと繋がったパノラマ画像を作成します







パノラマ画像の始点と終点をぐるりと シームレスにつなぎ合わせます。

imaging × innovation

お問い合わせ先

管理部 経営企画グループ

TEL:03-3288-3288

E-Mail: m-info-ir@morphoinc.com

